

F. 公衆衛生学分科会

9月15日(土) 第6会場 演題番号F-1～F-2

9:00～9:18

座長：堀内 基広(北海道大学)

- F-1 Transient PrP^{Sc} accumulation and increased gene expression in immune cells when stimulated by prion infected brain homogenate263
○Elhelaly Abdelazim Elsayed^{1,2}、猪島 康雄¹、石黒 直隆¹
¹岐阜大・食品衛生、²岐阜大・連獣
- F-2 実験的AAアミロイドーシスの伝播.....263
○村上 智亮、猪島 康雄、石黒 直隆
岐阜大・食品衛生

9月15日(土) 第6会場 演題番号F-3～F-4

9:18～9:36

座長：竹原 一明(東京農工大学)

- F-3 2010年宮崎口蹄疫における精神保健衛生ワンヘルスー農家、獣医師、地域住民のメンタルヘルス研究263
○蒔田 浩平¹、堤 敦朗²、門脇 弾¹、辻 厚史³、野上 朋子⁴、松尾 祐子⁴、渡 路子⁵、金 吉晴⁵、石田 康⁶
¹酪農大・獣疫疫学、²国連大学国際保健研究所マレーシア、³NOSAI連宮崎・リスク管理指導センター、
⁴宮崎県精神保健福祉センター、⁵国立精神・神経医療研究センター、⁶宮崎大・医学部
- F-4 農家レベルで口蹄疫の拡大・感染リスクを評価する：北海道帯広市大正地区の場合.....263
○門平 睦代
帯畜大・畜産フィールド科学センター

9月15日(土) 第6会場 演題番号F-5～F-8

9:36～10:12

座長：杉山 誠(岐阜大学)

- F-5 日本脳炎ウイルス(JEV)感染においてTNF α は免疫応答を調節し重症化の抑制に働く264
○早坂 大輔¹、北浦 一孝²、青木 康太郎¹、白井 顕治²、Dash Sima Simanti¹、永田 典代³、高松 由基¹、
鈴木 隆二²、森田 公一¹
¹長崎大・熱研・ウイルス・GCOE、²独立行政法人国立病院機構 相模原病院・臨床研究センター、
³感染研・感染病理部
- F-6 ダニ媒介性フラビウイルスによる中枢神経系障害に関わるウイルス因子の同定.....264
○好井 健太郎¹、寸田 祐嗣²、境 瑞紀¹、荻和 宏明¹、Holbrook Michael^{3,4}、高島 郁夫¹
¹北大・院・獣医・公衆衛生、²北大・北大・院・獣医・比較病理、
³The University of Texas Medical Branch、⁴NIAID Integrated Research Facility
- F-7 極東型ダニ媒介性脳炎ウイルスの強毒化に関わるウイルス側因子の特定264
○境 瑞紀、好井 健太郎、横澤 香菜、荻和 宏明
北大・獣医・公衆衛生

- F-8 ダニ媒介性フラビウウイルスのインターフェロンアンタゴニスト作用の解析 264
 ○鶴田 征太郎、好井 健太郎、境 瑞紀、苺和 宏明
 北大・環境獣医学講座 公衆衛生学教室

9月15日(土) 第6会場 演題番号F-9~F-11

10:12~10:39

座長：伊藤 直人(岐阜大学)

- F-9 エゾヤチネズミの腎臓由来細胞株(MRK101細胞)におけるインターフェロン応答の解析 265
 ○中尾 桃子¹、真田 崇弘¹、佐々木 宣哉²、Saasa Ngonda¹、好井 健太郎¹、亀山 武志³、高岡 晃教³、
 苺和 宏明¹
¹北大・獣・公衆衛生、²北大・獣・実験動物、³北大・遺伝子病制御研究所
- F-10 新たに分離されたHokkaidoウイルスの性状解析 265
 ○真田 崇弘¹、尾崎 由佳¹、瀬戸 隆弘¹、中尾 桃子¹、Saasa Ngonda¹、吉松 組子²、有川 二郎²、
 好井 健太郎¹、苺和 宏明¹
¹北大・獣医・公衆衛生、²北大・医学研究科
- F-11 ベトナムのラットおよびヒトにおけるラットE型肝炎ウイルスの感染状況の調査 265
 ○清水 健太¹、李 天成²、安田 俊平¹、吉松 組子¹、駒 貴明¹、長谷部 太³、山城 哲³、
 Hoa Nguyen Thuy⁴、Mai Le Thi Quynh⁴、有川 二郎¹
¹北大・医・病原微生物、²感染研・ウイルス第二部、³長崎大・ベトナム拠点、⁴ベトナム国立衛生疫学研究所

9月15日(土) 第6会場 演題番号F-12~F-15

10:48~11:24

座長：好井 健太郎(北海道大学)

- F-12 分泌型アルカリフォスファターゼ発現VSVシュードタイプを利用した狂犬病ウイルス中和試験法の開発
 265
 ○加来 義浩¹、野口 章¹、濱本 紀子¹、Boldbaatar Bazartseren^{1,2}、佐藤 豪^{1,3}、森川 茂¹、井上 智¹
¹感染研・獣医学部、²モンゴル獣医学研究所、³日本大・生物資源科学部 獣医学科
- F-13 NおよびG遺伝子に弱毒化変異を導入した狂犬病ウイルス株の弱毒性状の解析 266
 ○中川 敬介¹、伊藤 直人^{1,2}、山岡 理子¹、岡寺 康太¹、杉山 誠^{1,2}
¹岐阜大・連合獣医学研究科、²岐阜大・応用生物科学部・人獣共通感染症学研究室
- F-14 狂犬病ウイルスP遺伝子が関連する末梢感染性の解析 266
 ○山岡 理子¹、伊藤 直人^{1,2}、中川 敬介¹、岡寺 康太¹、杉山 誠^{1,2}
¹岐阜大・連合獣医学研究科、²岐阜大・応用生物科学部・人獣共通感染症学研究室
- F-15 狂犬病ウイルスの病原性におけるP蛋白質アイソフォームの重要性 266
 ○岡田 和真¹、伊藤 直人^{1,2}、中川 敬介²、山岡 理子²、岡寺 康太²、杉山 誠^{1,2}
¹岐阜大・応用生物科学部・人獣共通感染症学研究室、²岐阜大学大学院・連合獣医学研究科

座長：高野 貴士(日本獣医生命科学大学)

- F-16 エキゾチックアニマルからの新型A群口タウウイルスの検出.....266
 ○岡寺 康太¹、伊藤 直人^{1,2}、中川 敬介¹、山岡 理子¹、宇根 有美³、杉山 誠^{1,2}
¹岐阜大・連合獣医学研究科、²岐阜大・応用生物科学部・人獣共通感染症学研究室、
³麻布大・獣医学部・病理学研究室
- F-17 A群口タウウイルスNSP6の解析～NSP6は機能性蛋白質か～.....267
 ○鈴木 万祐子¹、安部 昌子²、岡寺 康太²、中川 敬介²、山岡 理子²、伊藤 直人^{1,2}、杉山 誠^{1,2}
¹岐阜大・応用生物科学部・人獣共通感染症学研究室、²岐阜大学大学院・連合獣医学研究科
- F-18 A群口タウウイルスの持続感染が疑われた子牛の1例.....267
 ○三竹 博道^{1,2}、岡寺 康太¹、中川 敬介¹、山岡 理子¹、伊藤 直人^{1,3}、二本木 俊英²、笠原 香澄²、
 葛城 肅仁²、松田 真紀代²、杉山 誠^{1,3}
¹岐阜大・連合獣医学研究科、²福井県家保、³岐阜大・応用生物科学部 人獣共通感染症学研究室

座長：度会 雅久(山口大学)

- F-19 京都市における紅斑熱群リケッチアの検出.....267
 ○染谷 梓¹、池永 充宏²、大西 修²、近野 真由美²、杉江 真理子²、Velado Fernandez Igor¹、
 西野 佳以¹、前田 秋彦¹
¹京産大・総合生命・動物医科、²京都市衛環研・微生物部門
- F-20 エゾリス寄生ノミのリケッチア属細菌保有状況調査.....267
 ○松本 高太郎、池川 晃世、猪熊 壽
 帯畜大・臨床獣医学研究部門
- F-21 フクロモモンガにおける *Streptococcus gallinaceus* の保有状況.....268
 ○畑中 律敏¹、宇根 有美²、加藤 行男¹、田向 健一³、村上 賢⁴、岡谷 友三アレシヤンドレ¹
¹麻布大・獣医・公衆衛生学第二、²麻布大・獣医・病理学、³田園調布動物病院、⁴麻布大・獣医・分子生物学
- F-22 ペット用フクロモモンガにおける *Salmonella* の保有状況.....268
 ○菅沼 琴世¹、三村 有里恵¹、畑中 律敏¹、岡谷 友三アレシヤンドレ¹、宇根 有美²、田向 健一³、
 加藤 行男¹
¹麻布大・獣医・公衆衛生第二、²麻布大・獣医・病理、³田園調布病院

座長：胡 東良(北里大学)

- F-23 腸管出血性大腸菌のバクテリアルトランスロケーションにおける腸内常在細菌の影響 268
○鈴木 理絵¹、大友 由紀子¹、宮城 光¹、米山 裕¹、安藤 太助¹、磯貝 浩²、磯貝 恵美子¹
¹東北大学・農学部、²札幌医科大学・医学部
- F-24 東京都内でヒトおよび動物から分離された腸管出血性大腸菌O91株の疫学解析 268
○畠山 薫、小西 典子、貞升 健志、甲斐 明美
東京都健安研センター・微生物部
- F-25 獣医師から分離されたメチシリン耐性コアグラゼ陰性ブドウ球菌の遺伝学的解析 269
○石原 加奈子¹、酒井 久美子²、椿下 早絵³、田村 豊²
¹農工大・獣医公衆衛生学、²酪農大・獣医学類 食品衛生学、³酪農大・獣医保健看護学類 動物理学療法学
- F-26 国内の豚から分離された黄色ブドウ球菌の分子疫学的解析 269
○浅井 鉄夫¹、馬場 光太郎¹、比企 基高¹、臼井 優²、石原 加奈子³、田村 豊²
¹農水省・動薬検、²酪農大、³農工大

座長：林谷 秀樹(東京農工大学)

- F-27 *Bartonella elizabethae*感染マウスにおける菌血症動態と免疫応答の性差 269
○有馬 奈公子、壁谷 英則、丸山 総一
日本大・獣医公衆衛生
- F-28 わが国のマングースおよびハクビシンから分離された*Bartonella henselae*の遺伝子性状解析 269
○佐藤 真伍¹、壁谷 英則¹、重松 幸典¹、宇根 有美²、南 正人³、村田 浩一⁴、小倉 剛⁵、丸山 総一¹
¹日本大・獣医公衆衛生、²麻布大・病理、³麻布大・野生動物、⁴日本大・野生動物、⁵琉球大・野生動物管理
- F-29 カメキララマダニより検出された回帰熱群ボレリアの経ステージ感染様式 270
○高野 愛¹、杉森 千恵子¹、藤田 博己²、角坂 照貴³、Taylor Kyle⁴、坪田 敏男⁴、今内 覚⁴、田島 朋子⁵、佐藤 梢¹、渡邊 治雄¹、大西 真¹、川端 寛樹¹
¹感染研・細菌第一部、²馬原アカリ医学研究所、³愛知医科大・医学部、⁴北大・獣医、⁵大阪府大・獣医

座長：壁谷 英則(日本大学)

- F-30 天然記念物シロヘビにおける*Chlamydomphila*種細菌感染調査 270
○村松 康和¹、浅川 満彦²、岡本 実³、小宮 直孝³、福本 幸夫⁴
¹酪農大・獣医学群 衛生・環境学分野 人獣共通感染症学ユニット、
²酪農大・獣医学群 感染・病理学分野 獣医寄生虫病学ユニット、
³酪農大・獣医学群 感染・病理学分野 獣医免疫学ユニット、
⁴帝京科学大学・生命環境学部 アニマルサイエンス学科
- F-31 北海道の飼育犬における*Capnocytophaga*属菌の侵淫調査 270
○畠中 優唯¹、滝口 満喜²、後藤 正光³、村松 康和¹
¹酪農大・獣医学群 衛生・環境学分野 人獣共通感染症学ユニット、
²北大・大学院 獣医学研究科 獣医内科学教室、³菊水小さな動物病院
- F-32 人獣由来*Helicobacter cinaedi*の同定と新しい疫学ツールの開発 270
○谷口 喬子¹、比嘉 万理子¹、山崎 渉¹、佐伯 祐二²、岡山 明彦²、林 哲也³、三澤 尚明¹
¹宮崎大・農・獣医公衆衛生、²宮崎大・医・内科、³宮崎大・医・感染症

座長：三澤 尚明(宮崎大学)

- F-33 Sarcocystis fayeriによる食中毒・下痢のメカニズムと15kDaタンパク質との関係271
 ○齊藤 守弘¹、鎌田 洋一²、小西 良子²
¹埼玉県食肉衛生検査センター・精密検査担当、²国立医薬品食品衛生研究所・衛生微生物部
- F-34 馬肉食中毒の原因寄生虫であるフェイヤー住肉胞子虫の病原性タンパク質の性状271
 ○鎌田 洋一¹、入倉 大祐¹、齊藤 守弘²、大西 貴弘¹、小西 良子¹
¹国立衛研・衛生微生物部、²埼玉県食肉衛生検査センター

座長：岡村 雅史(北里大学)

- F-35 食鳥と体皮膚の羽毛包の開閉とカンピロバクター汚染の関連性について271
 ○浦田 彩香¹、新木 泰輔¹、佐々木 賢美¹、谷口 喬子¹、山崎 渉¹、三澤 尚明^{1,2}
¹宮崎大・農・獣医公衆衛生学、²宮崎大・産業動物防疫リサーチセンター
- F-36 ブロイラー鶏群におけるカンピロバクター保有状況と薬剤耐性271
 ○春名 美香¹、佐々木 貴正¹、村上 真理子¹、浅井 鉄夫²、山田 友紀子¹
¹農水省・消費・安全局、²農水省・動物医薬品検査所
- F-37 肉用鶏農場におけるサルモネラ属菌保有状況と薬剤耐性272
 ○佐々木 貴正¹、春名 美香¹、村上 真理子¹、浅井 鉄夫²、山田 友紀子¹
¹農水省・消費・安全局、²動薬検

座長：佐藤 至(岩手大学)

- F-38 東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う被災家畜の被ばくの実態調査272
 ○磯貝 恵美子¹、福田 智一¹、福本 学¹、木野 康志¹、篠田 壽¹、関根 勉¹、山城 秀昭²、小林 仁³、
 森本 素子³、阿部 靖之⁴、中川原 寛一⁵、島田 裕充⁵
¹東北大学・被災動物調査研究グループ、²新潟大学・農学部、³宮城大学・食産業学部、⁴山形大学・理工学部、
⁵日本遺伝子研究所

座長：丸山 総一(日本大学)

- F-39 GPS Data Loggerを用いたカラスの周年行動と病原体伝播の可能性について 272
 ○竹田 努¹、青山 真人¹、井村 貴之²、佐藤 雪太²、杉田 昭栄¹
¹宇都宮大・農・動物機能形態、²日本大・獣医・実験動物
- F-40 東京都内の犬及び猫から採取された東洋眼虫の遺伝的解析 272
 ○吉川 聡一¹、宗村 佳子¹、岡島 淳悟¹、水谷 浩志²、松本 淳³、野上 貞雄³
¹東京都福祉保健局・芝浦食肉衛生検査所、²東京都福祉保健局・動物愛護相談センター、
³日本大・生物資源科学部獣医学科医動物学研究室
- F-41 我が国におけるシュルツマダニからの*Babesia divergens*様遺伝子の検出 273
 ○新倉 綾^{1,2}、辻 正義²、平田 晴之²、石原 智明²
¹感染研・動物管理室、²酪農大・獣医

座長：落合 由嗣(日本獣医生命科学大学)

- F-42 肉用牛の消化管内における大腸菌O157の分布 273
 ○村上 真理子¹、佐々木 貴正¹、春名 美香¹、和田 真太郎²、浅井 鉄夫³、五十君 静信⁴、山田 友紀子¹
¹農水省・消安局、²(財)東京顕微鏡院、³農水省・動薬検、⁴国立医薬品食品衛生研究所
- F-43 ケニヤ国ナイロビの食肉処理場における牛屠体の大腸菌O157汚染率ベイズ推計 273
 ○茅野 大志¹、Mwai Cameline²、蒔田 浩平^{1,3}、Kangethe Erastus²、Grace Delia³
¹酪農大・獣医学群獣医疫学、²Nairobi University、³International Livestock Research Institute (ILRI)
- F-44 薬剤耐性大腸菌の畜舎内伝播におけるハエの役割 273
 ○臼井 優、岩佐 友寛、佐藤 豊孝、大久保 寅彦、田村 豊
 酪農大・獣医・食品衛生

座長：加藤 行男(麻布大学)

- F-45 ブドウ球菌エンテロトキシンAの腸管粘膜上皮バリア通過機構および消化管内動態の解析 274
 ○廣瀬 昌平^{1,2}、小野 久弥^{1,3}、山本 欣郎^{1,2}、胡 東良⁴、中根 明夫⁵、重茂 克彦^{1,3}
¹岐阜大・院・連合獣医、²岩手大・農・獣医・獣医細胞システム、³岩手大・農・獣医・食品安全、
⁴北里大・獣医・人獣共通感染症、⁵弘前大・院医・感染生体防御
- F-46 ブドウ球菌エンテロトキシンはスーパー抗原と催吐活性を有するが下痢活性を有しない 274
 ○胡 東良¹、Maina Edward K²、重茂 克彦³、中根 明夫²
¹北里大・獣医・人獣共通感染症、²弘前大・院医・感染生体防御、³岩手大・農・獣医・食品安全

座長：山崎 栄樹(帯広畜産大学)

- F-47 温度条件からみた*Listeria monocytogenes*の持続汚染株が示すバイオフィルム形成の解析274
 ○落合 由嗣¹、高野 貴士¹、望月 眞理子²、本藤 良¹、植田 富貴子¹
¹日獣大・獣医・獣医公衆衛生、²日獣大・獣医保健看護・応用部門
- F-48 ニワトリの肝臓における微生物汚染とアミロイド沈着274
 ○石黒 直隆^{1,2}、村上 智亮^{1,2}、猪島 康雄^{1,2}
¹岐阜大・食品環境衛生、²岐阜大院連獣医
- F-49 ISO/TS22964に基づく*Cronobacter* spp.試験法の検討275
 ○岡田 由美子¹、門田 修子¹、鈴木 穂高¹、荻原 博和²、福田 典子²、五十君 静信¹
¹国衛研・食管、²日本大・生物資源科学・食品衛生

座長：岡谷 友三 アレシャンドレ(麻布大学)

- F-50 イエネズミ糞便由来大腸菌の薬剤耐性調査275
 ○吉沢 創太¹、大久保 寅彦¹、佐藤 豊孝¹、臼井 優¹、田中 和之²、石塚 真由美²、田村 豊¹
¹酪農大・獣医・食品衛生学、²北大・獣医・毒性学
- F-51 犬由来メチシリン耐性*Staphylococcus pseudintermedius*の分子疫学解析275
 ○小泉 明穂¹、石原 加奈子^{1,2}、臼井 優¹、菊池 直哉³、田村 豊¹
¹酪農大・食品衛生学、²農工大・獣医公衆衛生学、³酪農大・獣医細菌学
- F-52 レバー由来及び糞便由来カンピロバクターの薬剤耐性と遺伝子型の解析275
 ○一色 ゆかり¹、石原 加奈子²、臼井 優¹、浅井 鉄夫³、田村 豊¹
¹酪農大・獣医・食品衛生学、²農工大・農・獣医公衆衛生学、³農水省・動物医薬品検査所
- F-53 市販鶏肉由来薬剤耐性サルモネラ属菌における耐性遺伝子の解析276
 ○小川 紋、佐藤 豊孝、大久保 寅彦、臼井 優、田村 豊
 酪農大・獣医・食品衛生学

座長：石原 加奈子(東京農工大学)

- F-54 動物用抗菌剤の使用状況の調査結果について(第2回)276
 ○小池 良治、野牛 一弘、露木 麻衣、平澤 緑、浅井 鉄夫
 農水省・動薬検
- F-55 鶏大腸菌症由来大腸菌におけるプラスミド性キノロン耐性遺伝子について276
 ○川西 路子¹、小澤 真名緒¹、比企 基高¹、阿保 均¹、浅井 鉄夫¹
¹農水省・動薬検・検査第2部安全検査第一領域、²農水省・動薬検、³農水省・動薬検・比企基高、⁴農水省・動薬検、⁵農水省・動薬検
- F-56 健康ブロイラー由来大腸菌における系統群別病原遺伝子の保有状況及び薬剤感受性276
 ○比企 基高¹、浅井 鉄夫¹、川西 路子¹、臼井 優²
¹農水省・動薬検・二部、²酪農大・食品衛生